トピック展示

# 祈りの山 宝満山

〈会　期〉平成21年(2009)11月13日(金)～12月20日(日)
〈会　場〉九州国立博物館文化交流展示室　関連第9室

関連イベント

**記念講演会**「祈りの山 宝満山 ―山岳信仰と修験道―」

太宰府の霊山である宝満山の歴史と文化を最新の調査・研究成果を踏まえながら、歴史考古学・宗教民俗学の視点から複眼的に捉えるとともに、九州および日本の山岳信仰や修験道の歴史における宝満山の位置づけについて考えます。

日　時　平成21年11月22日(日)
13:30～17:00(13:00受付開始)
会　場　九州国立博物館1階ミュージアムホール
主　催　(財)太宰府顕彰会・九州国立博物館
参加費　無料
定　員　300名　申込多数の場合は抽選
申込締切　平成21年11月6日(金)必着

講演
菅谷文則（奈良県立橿原考古学研究所長・滋賀県立大学名誉教授）
「山岳信仰の考古学」
森　弘子（福岡県文化財保護審議会専門委員・太宰府発見塾塾長）
「宝満山の歴史と信仰」
山伏問答実演
宝満山修験会

申込方法　ハガキまたはFAXにて住所・氏名・年齢・電話番号を記入し下記までお申し込み下さい。
〒810-0001 福岡市中央区天神2-8-34 住友生命福岡ビル　株式会社西広「宝満山　記念講演会」係　FAX092-739-8441

**栗原隆司写真展**「宝満山 2009 春夏―祈りと山麓のくらし―」

宝満山の風景や竈門神社の祭り、山麓にくらす人びとの姿を、今年撮影されたばかりの美しい写真で紹介します。

会　期　平成21年11月17日(火)～11月23日(月)
会　場　九州国立博物館1階エントランスホール
主　催　(財)太宰府顕彰会・九州国立博物館
観覧料　写真展は無料です。

〈観覧料〉（文化交流展示室）　一般420円　大学生130円　〈主　催〉（財）太宰府顕彰会・九州国立博物館

写真撮影：栗原隆司

九州国立博物館

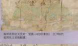
# トピック展示　祈りの山 宝満山

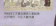
宝満山（ほうまんざん）は、御笠山（みかさやま）、竈門山（かまどやま）とも呼ばれた古来よりの霊山です。天武天皇（てんむてんのう）２年（673）、玉依姫命（たまよりひめのみこと）が心蓮上人（しんれんしょうにん）に現れて竈門神社が創建されたと伝えられ、大宰府の鬼門の方角（北東）を護る神、農業の神、国土を守る神の坐す山として信仰を集めてきました。

この度のトピック展示では、神話伝承のなかの宝満山、律令国家による宝満山の祭祀、最澄（さいちょう）・円仁（えんにん）・円珍（えんちん）など入唐僧（にっとうそう）の祈り、山岳寺院としての繁栄、修験の山としての宝満山など、その歴史と文化を宝満山の地宝や竈門神社の宝物を通じてたどります。

**主な展示作品**

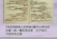
木造竈門三神像
江戸時代　竈門神社蔵


福岡県指定文化財　宝満山絵図（東図）　江戸時代
福岡県立美術館蔵


明和四丁亥歳宝満宮入峯絵巻
江戸時代　大広大園寺蔵

銅鏡「寛文十二年」銘　黒田光之寄進
江戸時代　竈門神社蔵

重要文化財　智証大師伝　鎌倉時代　東京国立博物館蔵


「筑前国続風土記附録」竈門山神社図
加藤一純・鷹取周成著　江戸時代
平岡邦幸氏蔵

※会期中、展示替えがございます。

太宰府天満宮
九州国立博物館
西鉄太宰府駅
トンネル
西側アクセス
東側アクセス
太宰府市役所

駐車場（有料）に限りがありますので、ご来館の際は公共交通機関をご利用ください。

■ 交通案内
[illegible]

■ 観覧料（文化交流展）
一般 420円（210円）　大学生 130円（70円）
[illegible]

**九州国立博物館**
〒818-0118　福岡県太宰府市石坂 4-7-2
NTTハローダイヤル 050-5542-8600（8時～22時）
開館：9：30～17：00（入館は16：30まで）
休館日：月曜日（月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日）

［記念講演会 申し込み方法］ハガキまたはFAXにて住所・氏名・年齢・電話番号を記入し右記までお申し込み下さい。
お一人様１枚入場整理券を郵送いたします。〈応募締切〉平成 21 年 11 月 6 日（金）必着
〈定員〉300 名 ※申込多数の場合は抽選　※申込情報は個人情報として厳正な管理下で安全に保管します。

〒810－0001
福岡市中央区天神 2－8－34 住友生命福岡ビル
株式会社 西広「宝満山 記念講演会」係

**宝満山 記念講演会　参加申込用紙（FAX 専用）　FAX.092-739-8441**

住　所　〒　　－
電話番号　（　　）
FAX　（　　）

ふりがな

氏　名
年　齢　　　歳